

入学から卒業まで留学生の就職支援をサポート ～グローバル人材活用運営協議会の活動状況～

留学生の就業支援を目的として、関西の経済団体、大学、大学コンソーシアム、行政機関によって設立された「グローバル人材活用運営協議会」(事務局：関経連)は、2015年6月で発足から3年目を迎える。当協議会が産学官協働で実施してきた2014年度における外国人留学生支援の内容を中心に紹介する。



協議会のロゴマーク

グローバル人材活用運営協議会の概要

グローバル人材活用運営協議会では、留学生の就職活動の準備段階から実際の採用、就職後の企業への定着に至るまでを一貫してサポートするプログラムとして、主に5つの事業に取り組んでいる(図)。協議会構成団体のノウハウを生かし、産学官が各自の役割を果たしながら協力して実施しているもので、ここではそのカテゴリーに沿って、各事業の紹介を行っていく。

①日本で就職し、働くことについての理解促進

日本人学生に比べ、外国人留学生には新卒一括採用の慣行が十分に伝わっていない。そこで、当協議会

では留学生が本格的な就職活動を開始する前に、日本の就職活動や日本企業で働くことについて理解を深める機会を提供している。その中心となる事業が現役留学生と留学生OB・OGとの交流会である。

交流会では、日本企業で働いている留学生OB・OGによる、企業で働く上での心構えや就職活動に関する注意点などについての講演とあわせて、留学生とOB・OGとの意見交換を実施している。ここでは、現役留学生から「母国との懸け橋になるような仕事に就くにはどうしたらいいのか」「どうすれば出世できるのか」など、率直な質問が出ることも多い。

この交流会は、現役留学生にとって、実際に就職活動を体験したOB・

OGに直接質問できる貴重な機会であり、ニーズが高い。



交流会での意見交換の様子

②留学生と企業との相互理解の促進

留学生が日本企業を理解し、企業が留学生の実情を把握するための事業も実施している。

その1つ目は、中堅・中小企業見学会であり、留学生にはイメージしにくい企業の現場やその仕事内容について知ることを目的に、実際の工場や研究施設の見学を行っている。

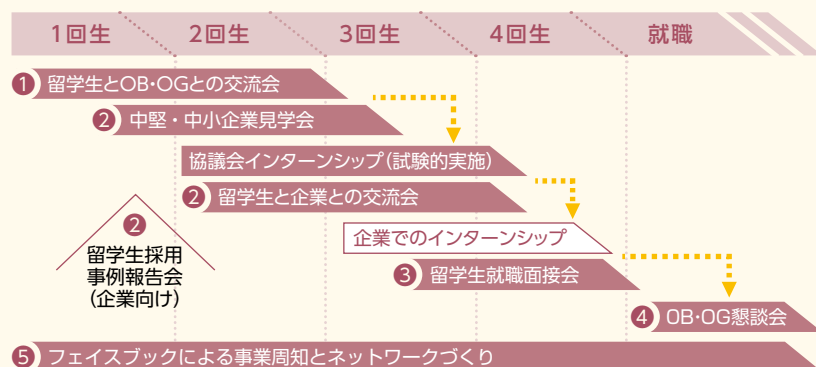


工場見学の様子

2つ目は、留学生と企業との交流会であり、採用試験や面接といった選考の場ではなく、懇親会形式で、自由に意見交換や交流ができる機会を提供している。

3つ目は、留学生採用事例報告会である。ここでは、留学生の採用を考える企業に対し、すでに採用実績

〈図〉グローバル人材活用運営協議会の事業イメージ(入学から卒業まで)



〈留学生就職支援のための5つのカテゴリー〉

- ① 日本で就職し、働くことについての理解促進
- ② 留学生と企業との相互理解の促進
- ③ 留学生と企業のマッチング支援
- ④ 留学生の定着支援
- ⑤ ネットワークづくり

のある企業から、採用における留意点や採用後の活躍ぶりなどについて報告いただいている。

③ 留学生と企業のマッチング支援

採用に直結する取り組みとして、中堅・中小企業と留学生とのマッチングの機会も提供している。

2012年まで大阪労働局が単独で開催していた留学生の就職面接会を、2013年から協議会として実施。2014年10月に開催した面接会では、参加企業30社に対し、日本企業への就職を希望する留学生約500名が集まり、会場は大変なにぎわいをみせた。結果、内定数も40名ののぼり、2013年の18名に比べ大幅に増加した。



面接会場の様子

④ 留学生の定着支援

グローバル人材活用運営協議会では、構成員に経済団体が参画して

グローバル人材活用運営協議会の事業に参加した留学生・企業の声

〈留学生〉

- 企業の方々と交流することで、これから何を頑張ればいいのか明確になった。(交流会 参加留学生)
- 日本企業のこだわりを感じることができ、こんな会社で働きたいと思った。(企業見学会 参加留学生)

〈企業〉

- 今まで採用実績のない大学の学生を採用することができて大変よかった。(就職面接会 参加企業の人事担当者)
- 学生時代とは異なり、他の留学生OB・OGと交流する機会は大変貴重だった。(OB・OG懇談会 参加留学生OG)

いる強みを生かし、留学生の就職に至るまでの支援のみならず、就職後の定着支援も行っている。企業で働く留学生OB・OG同士の交流の機会としてOB・OG懇談会を実施し、外国人社員ならではの悩みや疑問の解消に役立ててもらっている。

⑤ ネットワークづくり

これらの取り組みを周知する手段としては、留学生の利用頻度が高いfacebookを活用している。協議会が独自で開催する行事だけでなく、関係団体が実施するイベントの告知や就職活動に関する情報発信等を行っている。



• facebook

<https://www.facebook.com/global.kansai>

グローバル人材活用運営協議会の今後の方向性

2年間にわたる活動の中で、多くの留学生や企業の参加が得られた。2015年度以降は、これまでの実績を生かし、より多くの企業に参加いただけるよう、引き続き取り組んでいく。

また、各団体が単独で実施している事業を共同で開催し、実施地域・規模を拡大したり、協議会内の団体同士による新たな取り組みを実施したりするなど、関西における留学生の就業支援活動の輪を拡大していきたい。

(労働政策部 田邊了三)

グローバル人材活用運営協議会の構成団体で留学生インターンシップを実施

協議会初の試みとして、2014年度に2回生向けの協議会インターンシップを試験的に行った。会員企業を有する経済団体(協議会の構成団体)等がインターンの受け入れ先となり、留学生に対し企業と接する機会を提供した。このインターンシップの目的は、3回生以降の本格的なインターンシップ先を考える際に、関西の中堅・中小企業にも視野を広げてもらうことにある。また企業にとっては、事前に留学生とかわりをもつことで、留学生への理解を深められるというメリットがある。2015年度は、参加留学生に対し、大学コンソーシアムなどがコーディネートする企業インターンシップの情報提供を行う。

当会では、会員企業の訪問に加え、当会とかわりの深い関西国際空港や関西文化学術研究都市、うめきたの見学等を実施した。参加留学生にはここで得られた情報や経験を、3回生以降の企業インターンシップや就職活動に生かしてもらうことを期待している。協議会としても今回の経験をふまえ、企業見学などをとおして、早期から企業に関心をもってもらう機会のさらなる充実につなげたい。



うめきた・グランフロント大阪ナレッジキャピタルの見学の様子